



ふるさと会活動ご報告



会 長
高松市観光大使
池田 克彦

秋も後半となりましたが如何お過ごしでしょうか。今年の夏は局部的に豪雨が降るなど例年より台風が少なくやや異常な気象を感じました。さて平素からふるさと会へのご支援戴き有難う御座います。前号に続き町便りと活動報告をさせて戴きます。

1. 6月市議会で塩江町出身の佐藤議員が、高齢化が進む里山集落の農家から空き家・遊休農地の情報と利用希望者情報を登録、提供システム構築の必要性を質問。地域活性化の為提供システム導入する旨を市が答弁。
2. 6月14日第27回しおのえホテルまつりが行われました。
3. 7月12日第7回高松・塩江首都圏ふるさと会の集い(総会・懇親会)を都内銀座サンミ高松で開催。
4. 8月24日セカンドステージにおいて、セカンドステージの販売等について、佐藤市会議員・尾形塩江支所長・赤松副主幹・喜多代表・池田ふるさと会長らで勉強会を開催。
5. 4月東京・別海ふるさと会の総会：9月28日東京・別海ふるさと会等主催、横浜こどもの国公園で秋刀魚祭り：10月5日代々木公園での東京・別海ふるさと会主催の産直フェアにふるさと会から参加。
6. ふるさと会の役員会を5月14日・6月23日・7月30日に開催。5月26日高松市役所大西市長・富田産業経済部長・尾形支所長・赤松副主幹等にふるさと総会等で表敬挨拶。5月30日香川県東京事務所西原所長にふるさと総会等で表敬挨拶。

特集 ふるさと会総会

ふるさと会の集い(総会・懇親会)のご報告

会 長 池田克彦

7月12日(土)都内銀座のサンミ高松で塩江町が合併で新高松市として、初めてのふるさと会の集い(総会・懇親会)を第7回目として60名のご参加をえて開催致しました。衆議院の木村先生、同じく平井先生と大西市長よりご丁寧なる祝電を頂戴。塚本元環境省自然保護局整備課長、西原香川県東京事務所長、堀四国新聞東京支社長、佐藤高松市市議員、富田高松市経済産業部長、尾形塩江支所長、赤松高松市観光振興課副主幹、吉広塩江

支所係長、中井前塩江支所長、黒川前塩江町議長、藤澤塩江温泉観光協会会長、喜多セカンドステージ代表、尾形宗玲煎茶師匠、真壁東京・別海ふるさと会名誉会長、新家東京・別海ふるさと会長、藤倉さん、吉田さん等のご来賓をご多忙のところご臨席戴き盛大に催しが出来えました事に厚く御礼と申し上げます。



会長挨拶 西原県東京事務所所長



佐藤市会議員 塚本・中井・黒川各氏



吉田(つくば)氏 藤倉ギターリスト

①会則の改正(会員募集の範囲を拡大、東北圏・名古屋圏・関西圏での賛助会員募集と会員の推薦があれば会員とする。3年内目処で関西圏ふるさと会の創設)

②役員等の改選で、名誉会員に塚本忠之氏・真壁伯良氏・遠藤登氏、顧問に中井弘氏・黒川恵氏、相談役に藤沢伸明氏、会長に池田、副会長に村上・大峯・崎川・藤嶋の各氏、理事に沢田・藤澤学・矢田・藤澤正美・矢野・佐藤光伯・熊野各氏のご承認を戴きました。

また真壁氏のご尽力で、サッポロ飲料(株)、サッポロビール(株)、ビックホリデー(株)、ホテルKKR宮の下(箱根)から、航空券・ワイン・チーズ・宿泊券等ご提供を戴き有難う御座いました。

ふるさと会の皆様とのご縁に感謝して



高松市産業経済部長
富田 繁

高松・塩江首都圏ふるさと会の総会にお招きいただき、心から感謝申し上げます。大変、楽しいひとときを過ごさせていただきました。塩江町は、町としての長い歴史に終止符を打ち、平成17年9月に高松市と合併いたしました。

合併により、塩江町のすばらしい自然や歴史、文化が加わり、高松市は、都市としての風格と魅力がぐんと増したように思います。さらに、こうして塩江町出身者および塩江町の方々のすばらしいご縁もいただきました。

今後とも、よろしくお付き合いを賜りますようお願いいたします。私もかつて、東京で生活をしていたことがあります。初めての帰省の折、連絡船の中で食べたうどんの美味しさは、今でも忘れられません。東京暮らしの苦労や家族のありがたさ、ふるさとのなつかしさなど、様々な思いが交じり合い、胸が一杯になったのを、ふるさと会に出席いたしまして、改めて思い出しました。皆様方にお会いして、ふるさとに対する温かな愛情を感じ、大変心強く思いました。また、激励のつもりが、逆に、大きな元気をいただきました。感謝申し上げます。

高松市は、今、高松市に住んでいる人だけのものではないと思います。今は東京など、全国で生活されていますが、塩江町や高松市で生まれ、育った方々のものでもあります。

私たちは、皆様方からお預かりした塩江町の自然や伝統文化を大切に、心の拠り所であるふるさとを、しっかりと守ってまいるとともに、皆様方が誇りを持って、高松の名を語ることができるよう、全力で取り組んでまいりたいと存じます。なお、ご承知のように、このたび、「ふるさと納税制度」が創設されました。

ふるさとに愛着を持ち、ふるさとのよさを守り、さらに発展することを願う皆様方の思いを「寄付金」としていただき、それを財源としてふるさとの優れた自然や伝統文化等の財産を後世まで引き継いでいくものです。また、より住みよい、魅力あふれるまちづくりを進めていくことを目的としたものです。

ふるさと納税について、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、高松市の近況を申し上げますと、讃岐うどんが全国的に有名になっていますが、「かな泉」や「川福」など老舗のお店も頑張る

中、郊外には、味に自信のあるうどん職人による新しいお店が次々にオープンし、高松市内では200を超えるうどん屋さんが、麺のコンの強さとダシの旨みを競い合っております。

うどんは極めてシンプルな食べ物ではありますが、お店同士の切磋琢磨とうどん好きの高松市民の率直な口コミでの評判が、更なるおいしさを創り出している感じです。帰高された際には、ぜひ、ご賞味ください。味も、安さもご満足いただけると存じます。高松・塩江首都圏ふるさと会の皆様方、ますますのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

ふるさと会総会に参加して



塩江支所長 尾形 進

今年の夏は、経験したことのない猛暑で、塩江でも連日35度を超える日にぐったりしていました。7月初旬の早い梅雨明けから、水瓶の早明浦ダムに、ほとんど雨が降らず、高松は渇水対策に追われていました。塩江は水の心配はないのですが……。10月に入ってから、時々まとまった雨が降り、少しは緩和されているところです。また、その雨と急激な冷え込みのおかげで、塩江の山は例年にない「きのこ」の豊作となりました。いっぽんシメジ、栗シメジ、モミタケ、いぐちん（イグチ）、じごぼ、そして、なんとと言ってもマツタケ…が、たくさん採れているそうです。私も、何年かぶりに不動の滝近くの山の中へ行ってみましたが、“松のはな”を少し採っただけでした。でも、それを入れた打ち込みうどんの秋の風味は格別です。

さて、7月には、総会にお招きをいただきましてありがとうございました。町合併前の17年6月に参加して以来三年ぶりとなりましたが、昨年の11月に「植樹と紅葉のふるさとへの旅」での東京・別海ふるさと会や高松・塩江ふるさと会皆様方との再会、また、シャンソン歌手の高久由紀子（旧姓別所）さんなどとのなつかしい話で、楽しい東京のひと時を過ごさせていただきました。たいへん盛会裏に終えた総会開催に当たっての準備から当日まで、ご苦労いただいた池田会長様はじめ会員スタッフの皆様、心から敬意を表します。ここで、総会の中でも話しましたことですが、再度お願いをしたいと思えます。1点は、塩江地域に特定できないのが残念なのですが、ふるさと納税による寄付を、少しからでも、ぜひ高松市に寄せていただきたいことです。もう1点は、NPO しおのえが運営する「セカンドステージ」利用促進に対するご協力をお願いするものです。首都圏から個人、団体を問わず、塩江セカンドステージを利用していただけよう口コミで周知いただければ幸いです。最後に、皆様方の益々のご活躍とあわせて、ふるさと会の輪が首都圏からさらに広

く膨らんでいくことをご期待申し上げて、ふるさと塩江からのメッセージとします。

ふるさと会との出会い



会員 高久（旧姓別所）由紀子

私がふるさと会に出席してみようかと思うようになったきっかけは、還暦を迎えての大病でした。今まで病気とは無縁で健康を誇りにしていた私にとって、肝臓の為3分の1の肝臓切除は正に青天のへきれきでした。

けれども立ち直りの速いと言いますか楽観的な私は、退院が近づくにつれ私の復帰を心待ちにして下さる沢山のシャンソン教室の生徒さん達、そして又、次のシャンソンコンサートへの準備に思いをめぐらせ、気持ちはずっと前向きでした。しかし心配をかけた母にまずは元気な姿を見せて安心をさせなければ・・・と静養や墓参を兼ね塩江に帰る事にしました。

子供達はすでにそれぞれの家庭を持ち、年に3～4度は実家に帰ってはいましたので、瀬戸内海にさしかかり屋島や八栗山が見えはじめると、いつもの様に山並ぬって塩江に続く道を眺めていました。すると突然自分でも予期しなかった涙がとどめなく流れ、そんな自分自身に驚いてしまいました。悲しみでもなく喜びでもなく、それは幼い頃から私を育ててくれたふるさとの山や川が、病んで生まれ故郷に帰る里子を、まるで優しく迎えてくれているかの様に思えたものです。それ以来私はふるさと会に集う事が楽しみになりました。去る7月12日のふるさと会では、池田会長さんより是非私のシャンソンを、というお話をいただき、私の歌に静かに耳を傾けて下さる皆様と、あたたかく幸せなひと時を過ごさせていただきました。



来年4月7日には、新宿安田生命ホールにおいて第4回「私のパリ」シャンソンコンサートを予定しております。体調を整え少しでも皆様のお心に残るコンサートをしたいと思っています。塩江は秋もたけなわ。今年も87歳になる母とキノコ狩りに行く事を楽しみしている今日この頃です。

事務局よりお知らせ

- ①昨年11月内場池湖畔の公園で植樹をさせて戴きましたが、この1年間ペンションとまとの赤松さんと藤川牧場の藤川さんが枯れぬ様、枝垂れ桜・紅葉の育成に大変お世話頂きました。お陰で元気に育っております。御礼を申し上げます。
- ②NPO奥塩江交流ボランティア協会（もの

広場）より「環境ブートキャンプ」は8月9日約90名の参加者をえて、塩江上西で川遊びなど自然の中での遊びを体験しながら、親子・祖父母と孫の家族交流で絆を深めた行事として好評でした。との報告。都会住まいの親が子供・孫との絆を自然と接しながら深めたいと希望に答えられる行事です。当ふるさと会で来年夏予定されれば参加検討させて戴く予定です。

③当ふるさと会会員の高久由紀子さん（旧姓別所）が来年4月7日都内新宿安田生命ホールでシャンソン「私のパリ」のテーマでコンサートを開催されます。連絡先電話/FAX042-462-4567 多数のご参加をお願いします。

④ふるさと納税を応援しています。別紙申し込み書を添付いたしますので、ふるさと高松塩江町の為寄付金をお願いします。（寄付金は税額控除が受けられます。お住まいの自治体等に収める税の一部をふるさとに納税する制度です）寄付金の使途の指定内訳は、推薦ですが（3）環境保全と地球温暖化への対応に関する事業。又は（7）都市イメージの向上とにぎわいづくりに関する事業。のどちらかを選択（両方でも可）して金額をご記載して申し込みします。納付書が高松市から送られて来ますのでご確認の上事務手続きをお願いします。まずは寄付金申し込みが必要です。申し込み先は、高松市財務部納税課ふるさと納税担当電話 087 - 839-2222 FAX087-839-2230 です。

⑤首都圏・関西圏の大都市の方々をグリーンツーリズム：農業体験のテーマで、塩江町上西の体験宿泊施設セカンドステージに、ふるさと会として、関西のふるさと会賛助会員と関連して、来年3月塩江上西のセカンドステージを訪問予定です。訪問費用は、関西圏からは、往復交通費・食事代・宿泊費（1泊2日のコース）無料。但し首都圏からは、片道交通費（航空運賃）のみは自己負担。16名以上の参加者の募集を予定します。詳細は後日ご案内します。セカンドステージでは、四国遍路との組み合わせ、竹細工・陶芸・蕎麦打ち・うどん打ち等のカルチャー体験、山菜加工・たけのこ加工・製茶・いちごジャム作り等の農産物加工の体験が出来ます。また四国四県内の顧客紹介を希望しています。電話 087 - 893 - 1100。セカンドステージは、今や塩江上西のシンボリック的存在となりました。もしも本施設が廃業となれば塩江上西に重大な影響が出ます為、地元及び関係者に協力して施設利用の支援を強力に進めたいと考えていますので、会員皆様及び親類友人のご助力をお願い致します。

編集後記

今年の夏は、特に猛暑でしたので、好物の讃岐うどんを毎日のように食べました。一方、高松市が水不足だとのニュースをテレビで知ると「ふるさと塩江」では、だいたいぶかなと思いつながり過ぎた夏でした。そして、明日からは、11月。塩江の山々が紅葉で美しくなる季節ですね。次号は来年4月を予定します。
(編集人 矢田敏雄)